

第3学年 総合的な学習 学習指導案

鹿児島市立広木小学校 教諭 田中 春名

1 単元名 オリジナル未来広木マップを作ろう

2 単元の目標

- ・ 校区「広木」の初めて知ったことや広木地域の課題を友達に伝えることができるようにまとめることができる。

(知識・技能)

- ・ 校区「広木」について、地域の方にゲストティーチャーとして、サポートをもらいながら、調べ、課題を探し、解決方法を考えることができる。

(思考・判断・表現)

- ・ 広木小学校校区で暮らす人とともに安心して暮らせるようにするにはどのようにすればよいかという意識をもって地域の方とかかわり、「広木」地域についてまとめることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本校の校区は、住宅が多く、坂道が多く、山を切り崩して住宅街を作ったような地域である。

本単元「わたしたちのまち」では、「広木」校区の町の特徴や地域の方の話を聞き、教えてもらったことから、友だちへ分かりやすく伝えるためにまとめることを目標とした。

2年生までの校区探検で、「広木」校区の特徴や、広木校区のよさに気付き、地域の人の一員であることを実感することができた。また、学校以外でも地域の方に温かく見守ってくださっているということを実感し、児童たちも安心して学習に取り組めると感じ、この学習を設定した。

また、地域の方もこの学習に協力してくださり、児童たちをサポートする体制が整っている。学校と地域との距離も近く、温かく見守ってくださっているので児童たちも安心して取り組めると感じ、この学習を設定した。

(2) 児童観

また、第2学年において、生活科の授業で「町たんけん」を行っている。自分たちの住んでいる町を探検し、校区の特徴について、主にお店や病院などをまとめる活動をしている。その学習を通して、自分たちの住んでいる校区には住宅が多く、自然が少ないということを体感した。本単元を通して、自分たちの校区よさについて新しく発見することができるようにしたい。

(3) 指導観

単元の指導にあたって、自分の伝えたい広木のよさについて調べていく。人との関わりを通して、自分たちの住んでいる地域の良さに気付かせたい。自分たちの力で広木マップを作り、完成させられたという達成感を味わうことで、地域の人とのつながりも大切にして生きていこうとする気持ちを高めることができると思う。

(4) ESDとの関連

- ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）
 - 相互性・・・地域の一員としてできることがあり、自分たちはいろいろな人に支えられている。
 - 責任性・・・グループの人と協力し、自分の分担されたところを責任もって調べる。
- ・本学習で育てたい ESD の資質・能力
 - コミュニケーションを行う力
 - ・地域の方と交流し昔と今の様子違いなどを聴いたり，調べたことを共有することで多くの情報を得たり，地域に発信したりする。
 - ・お互いの発表を聴き，色々な視点から地域を見ることができる。
 - 他者と協力する態度
 - ・地域のよさや昔のことを知るために、地域の方や家の人へインタビューをして、他者と協力して探求する。
 - 進んで参加する態度
 - ・自分が地域の一員であることを自覚し、地域のよさやすばらしさをいろいろなし
- ・本学習で変容を促す ESD の価値観
 - ・達成が期待される SDG s
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 11 住み続けられるまちづくりを

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 地域の人とつながり、自分も地域の一員であることを理解している。 ② 地域のよさを知り、伝えるための方法や地域のために自分ができることを理解している。	① 地域のよさを伝える方法をいろいろな視点から考えている。 ② 必要な情報を集めるとともに、集めた情報を効果的、協働的にまとめている。	① 「オリジナル未来広木マップを作る」という目標に向けて、見通しをもって探求的な活動に取り組もうとしている。 ② 本単元で学んだことを今の生活や学習でどう生かしていくか考え、自己の生き方を見つめている。 ③ 地域に自ら出向き、積極的に地域のよさを知る活動に取り組もうとしている。

5 単元の指導計画（全20時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価（△） 備考（・）
1	自分たちが知っている広木について話し合う。 ・学級で話し合う。 ・お家の人へインタビューする。	・住宅の様子や店、施設の写真を提示する。 ・昔の様子を聞いてみる。 ・校区の特徴を考える。	△ウ①
2	町探検に行く。	・住宅、店、施設などの場所をメモできるよう、校区の白地図を配布する。 ・メモだけではなく、写真としても記録を残せるよう、タブレットを用意する。 ・様々な方向を探検できるように、グループを分ける。 ・地域の方に協力をいただき、安全に探検できるようにする。	△ア① △ア②
3	地域の方にお話を聞く。 ・「広木」の昔について、話を聞く。	・昔と今を比較し、「広木」の昔について知るきっかけを作る。 ・情報収集のために、地域の方との連携を図る。	△ア① △イ②
4	興味のあるジャンルで、課題解決活動をする。	・興味のあるものが似ている子ども同士でグループを作る。 ・インターネット、本、インタビューなど自分たちで方法を選んで調べる。 ・タブレットやメモ用紙を使って、調べた情報をまとめ、グループに共有する。	△イ① △イ② △ウ①
5	調べたことをもとに、オリジナル未来広木マップを作成する。	・過去のことや、現在の課題を踏まえ、未来を予想しマップを作成する。 ・伝える相手がいることを踏まえた、まとめ活動ができるようにする。（まちづくり協議会へ協力をしてもらう。） ・模造紙にまとめ、全体で合わせる。	△ア① △ウ②